

第22回 河川財団 研究発表会

— 持続的な河川管理への挑戦! —

日時 令和6年10月31日(木) 13:00~17:30 12:30 受付開始

会場 一橋大学 一橋講堂

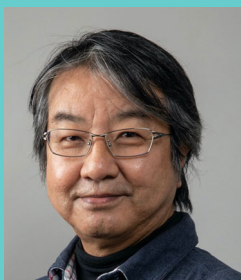
東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
都営新宿線・三田線 東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A8・A9 出口 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口) 徒歩4分

本研究発表会は、河川管理に資することを目的に河川財団で実施している、最新の研究内容について発表するものです。今回は、特別講演として東北大学の占部城太郎名誉教授(研究分野:水陸学・生態学)をお招きして開催いたします。また、発表内容についての議論を深める場として、意見交換会を設けております。皆様のお越しをお待ちしております。

申請中

本発表会は、土木学会 CPD 認定プログラムです。

特別講演



ネーチャー・ポジティブの背景と河川管理

東北大学 名誉教授 占部 城太郎

講演者プロフィール

うらべじょうたろう
占部 城太郎

東北大学名誉教授(生命科学学術研究員)、横浜国立大学客員教授。理学博士。千葉県立中央博物館、都立大学理学部助手、ミネソタ大学生態行動進化学科客員研究員、京都大学生態学研究センター助教授、東北大学生命科学研究科教授を経て現在に至る。専門は陸水学・生態学。応用生態学会長、日本陸水学会会長、日本生態学会会長、JSPS 学術システム研究センター専門研究員等を歴任。北米海洋陸水学会フェロー。主な著・訳書に「地球環境と生態系」、「湖の科学」、「湖沼近過去調査法」など。

プログラム

13:00	開会・主催者挨拶	理事長 小俣 篤
13:10	特別講演	東北大学 名誉教授 占部 城太郎
14:20	休憩	
14:30	研究発表の解説	河川総合研究所 所長 天野 邦彦
14:45	河川財団における河道管理に向けた取り組み(仮)	河川総合研究所 研究員 守屋 博貴
15:10	堰の湛水区間における再堆積・再繁茂を抑制する河道掘削の提案(仮)	河川総合研究所 研究員 滝沢 友吾
15:35	既往の調査結果を用いた植生管理方法による植生への効果・影響の評価(仮)	河川総合研究所 研究員 猪越 隼
16:00	休憩	
16:10	堤防植生管理を地域経済の仕組みに取込むための基礎研究(仮)	河川総合研究所 研究員 小森 遥菜
16:35	流域データプラットフォームの概要と今後のデジタル施策の方向性(仮)	河川総合研究所 研究員 森永 泰司
17:00	学習指導要領に照らした河川広報の工夫 ～学校教育と親和性の高い流域概念の活用～(仮)	河川・水教育センター 主任研究員 菅原 一成 河川・水教育センター 研究員 佐藤 友香
17:25	閉会・挨拶	河川総合研究所 所長 天野 邦彦
17:30	意見交換会	※意見交換会に参加ご希望方は、会費としてお一人様2,000円のご負担をお願いします。

申込み

下記、URL または 右図 QR コードの「専用受付フォーム」よりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/xqffxPABnK>



定員

先着300名 ※定員になり次第、受付を終了いたします。

締切

令和6年10月25日(金)

問合せ

河川財団研究発表会 事務局 担当: 森永・齋藤
E-mail: kasen-entry@kasen.or.jp

個人情報について

個人情報は、本研究発表会の連絡・次回研究発表会のご案内以外には使用いたしません。